指針第２号様式

地　球　温　暖　化　対　策　実　施　状　況　書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	フィード・ワン株式会社
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	神奈川県横浜市西区みなとみらい五丁目１番２号
工場等の名称	フィード・ワン株式会社　名古屋工場
工場等の所在地	愛知県名古屋市港区船見町19番地
業種	製造業
業務部門における建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	飼料製造業
計画期間	令和5年4月1日　～　令和8年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年9月30日　～　令和6年12月29日		
公表方法		掲示閲覧	（場所）
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
	○	その他	(その他詳細)　問い合わせの際、メール、FAXにて提示
公表に係る問合せ先	052-611-4316		

指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策をはじめとする環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。 1. 環境施策の継続的な改善を図ります。 2. 省資源・省エネルギー活動を推進します。 3. 従業員への環境教育を進めます。

（２）地球温暖化対策の推進体制

別途資料参照

指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　１　年度目（令和　５　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,309	t-CO_2
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）①を除く	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,309	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　4　年度		令和　7　年度		令和　5　年度		令和　6　年度		令和　7　年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　4　年度		令和　7　年度		令和　5　年度		令和　6　年度		令和　7　年度	
原単位あたりの排出量	0.01211	／ t	0.01332	／ t	0.01301	／ t		／ t		／ t
削減率（対 基準年度）			▲ 10.0	%	▲ 7.4	%		%		%
原単位あたりのみなし排出量						／ t		／ t		／ t
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

加熱加工品の製造量が大幅に増えた為、ガス使用量、電気使用量が大幅に悪化した。また、設備の老朽化にてのロスも考慮されている為、外注業者にて、調査を依頼し、修繕を進めていく方針。

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用量等の把握及び管理	・エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析	工場内月１回開催の生産会議でエネルギー使用量を共有する。	月１回開催の生産会議にてエネルギ使用量を共有し、会議非参加の人には議事録を作成し回覧している。
工場の製造工程における対策	・製造時での加熱加工工程をFA監視にて、不具合にての無駄なエネルギー消費防止 ・ドレン回収しボイラー用水として活用	毎年1%の電力、ガス原単位削減	製造での能力アップ等行っているが製品加工過程で加熱加工品があり、その数量が去年にくらべ大幅に増えており、目標に届いていない

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　1　　年度目（ 令和　5　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　1　年度目（ 令和　5　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況